

図書だより



—令和5年9月14日：飯山満中図書館—

月日の経つのは早く、夏休みが終わり半月になります。テストやイベントがたくさんありますね。残暑が続いていますが、季節は秋に近づいてきています。夏休みの疲れが出る頃でしょうか。気分を変えて本を開いて、ゆっくりと過ごす時間を作ってください。

図書館よりお知らせ

《 夏休みの本の返却を！ 》

夏休み特別貸出の本は返却期限が9月8日（金）でした。まだ返却できていない生徒がいます。

“期限を守る”ことはとても大切です。もし、まだ読み終わっていない時は、司書に相談してください。次の予約が入っていなければ延長もできます。



《 各種コーナー 》

●特設コーナー（6類と7類の間）：今年の9月1日で、関東大震災から100年となりました。震災の恐ろしさだけでなく、今後起こるかもしれない災害に備え、「災害と防災」と題して本を展示しています。調べる本の他に、東日本大震災に関する小説や絵本も展示しています。

●入り口のテーブル：体育祭を応援する「スポーツの本」を集めました。色々なスポーツが登場する小説（9類）の他にも、運動のコツをつかめる本（7類）も展示しています。

●カウンター前と入り口：飯山満中先生方から、お勧め本のPOPを書いていただきました。展示している本が借りられている場合は予約してください。



新着図書より、お勧め

テーマ “食べる”

⇒「食べているのは生きものだ」

森枝 卓士 文・写真



表紙は少しグロテスクなので、裏表紙の写真を使っています。食べ物は全て生きているのだと気付きます。

「あとがき」の後に書かれた1行は衝撃的です。唯一、生きていない食べ物とは！？

⇒「さばの缶づめ、宇宙へいく」

小坂 康之 / 林 公代 著



実際に宇宙食を作った高校生達の実話（ノンフィクション）です。13年間、開発のバトンを渡しながら造った鯖缶が宇宙で食べられている姿を見た時の、本人達の気持ちを想像して読んでください。

⇒「あした、弁当を作る。」ひこ 田中 著



部活や行事の日のお弁当でお母さんからのプレッシャーを感じたことはありませんか？家族の愛情を「ちょっと重たいな」と感じたことがある人は読んでみてください。

団結祭は楽しそうでしたね。図書館にも謎解きの本が色々あるので、見に来てください。新聞に掲載されている「しつもんドラえもん」も集めています。昼休みにどうぞ。 司書：藤森